



たくさんある検査の内
の一部ですが紹介させて
いただきます！！

発達検査と知能検査の違い

- 🔍 発達検査：運動発達、社会性やコミュニケーションなどを含む全般的な発達具合を確認するための検査
- 🔍 知能検査：知能指数(IQ)がどれくらいあるかを測る検査

発達検査：新版K式発達検査2020

目的：子どもの発達の遅れや偏りを早期に発見し、その子の得意なこと苦手なことを客観的に把握することで、個々に合った適切な支援や療育に繋げること。

対象年齢：0歳～成人。主に0～7歳未満の子供に使用される。

評価する領域

【認知・適応領域】

対象となる物を目で捉え、手指を使って物を操作（掴む・取る・離す・動かす等）する力を見る。

【姿勢・運動領域】

子どもが自分の体を使って、様々な外の世界と関わる力の育ち具合を見る。

【言語・社会領域】

社会性や言葉によるコミュニケーションの育ちを見る

検査の進め方：

検査用具はガラガラや積み木、ミニカーなど乳幼児になじみのある材料を使用し、自然な子供の状態を観察評価する(20分～40分程度)。

検査中の子どもの動作や反応も記録し、保護者や本人からの聞き取り情報も考慮して総合的に評価・分析される。



検査結果は発達水準を表す「発達年齢」として出され、この「発達年齢」と実際の子どもの年齢「生活年齢」とを比べて、「発達指数(DQ)」として報告される。

$$\text{発達指数(DQ)} = \text{発達年齢} \div \text{実年齢} \times 100$$

← [表] 結果を表した例

生活年齢 ○歳○月（子どもが検査を受けた日の年齢）		
領域	発達年齢	発達指数
姿勢・運動	○歳○カ月	○○
認知・適応	○歳○カ月	○○
言語・社会	○歳○カ月	○○
全領域	○歳○カ月	○○

生活年齢と発達年齢が同じ場合、発達指数は100となります。



目次

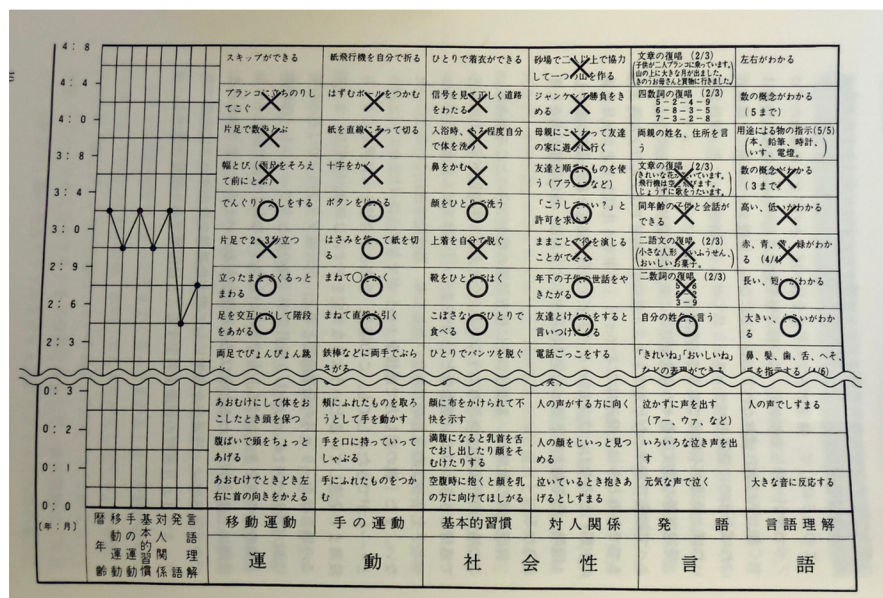
特色年齡：2：呂、4歲7：呂、5

対象年齢：0ヶ月～4歳7ヶ月まで。

乳児期は1ヶ月ごと、それ以降は2～4ヶ月ごとに発達課題が設定されている。

An illustration of a notepad with blue spiral binding and a green pencil resting on it, next to a person with dark hair wearing a teal shirt, sitting at a desk and writing on a piece of paper.

検査が○であれば上の問題へ進み、×が3つ続けば多くの場合、それ以上検査を進める必要はない。



折れ線グラフが横に直線に近ければ全体的に発達のバランスが取れており、凸凹があったり傾斜があれば、発達が不均衡ということを示している。



次回1月号は知能検査についてご紹介します！！

療考会役員より一言・・・

この2つの発達検査は実際に私の子どもが受けた検査です✨初めて受けた際に、「発達検査ってなんだろう」「検査結果をもっと詳しく理解したい」と感じ、保護者の立場として学習をしました。その内容を今回ニュースとして皆さんに共有させていただきました😊

子どもの発達検査の結果を聞いたとき、私は落ち込んだり、受け入れ難かったりと、さまざまな感情を経験しました。その後、療育を受ける中で、たくさんの保護者の方と出会い、お話を重ねることで、「自分だけではないんだ」と前を向けるようになりました。

発達検査の結果に一喜一憂することもあると思いますが、子どもが今何に困っているのかを知り、生活に活かすことで、みんなが笑顔で穏やかに過ごせることを願っています💖



年末のご挨拶・・・



今年も会員の皆さまにおかれましては、療考会の活動にたくさんのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年10月には陳情を行い、療育環境の改善に向けて、皆さまの声を福岡市へとお届けいたしました。今後は回答会ならびに総会に向けて準備を進めてまいります。

来年も皆さまにとって良き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください🌸